

- 問1 紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最初の勅撰和歌集を何という？
- 問2 1159年に平清盛と争い、平治の乱を起こした源氏の武士は誰？
- 問3 平安時代初期に、唐で密教を学んで帰国し、高野山を拠点として真言宗を開いた僧は誰？
- 問4 摂関政治の全盛期に「望月の歌」を詠み、栄華を極めた人物は誰？
- 問5 平安時代の貴族文化において、仏教の教えを絵画や工芸品などを用いて表現したものを何という？
- 問6 794年に山背国へ平安京を遷都し、奈良時代の政治を立て直そうとした天皇は誰？
- 問7 平安時代後期に藤原氏の栄華の象徴として平等院鳳凰堂を建立した、当時の政治の実権を握っていた人物は誰？
- 問8 空海が唐で学んだ密教を日本に広めるために金剛峯寺を建立した際、唐へ渡った制度を何という？
- 問9 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？
- 問10 平治の乱で勝利し、武士として初めて太政大臣に任命された人物は誰？
- 問11 平安時代末期、東北地方を拠点として独自の勢力を築いた一族を何という？
- 問12 平安時代初期に最澄が天台宗の総本山として延暦寺を建立した場所はどこ？
- 問13 『源氏物語』を書き、平安時代の国風文化を代表する女性作家は誰？
- 問14 天台宗において、あらゆる人が救われるという教えの中心となっている経典を何という？
- 問15 平安時代末期、武士として初めて任命された最高位の官職を何という？
- 問16 娘を天皇の后にして天皇の親戚となり、藤原氏の全盛期を築いた人物は誰？
- 問17 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？
- 問18 上皇が権力を強めるため、自らの警護や武力行使のために雇った地方の武士団を何という？
- 問19 平安時代に日本独自の文化が発展したきっかけとなった、遣唐使が停止された時期はいつ？
- 問20 平安時代中期に、貴族社会を題材とした長編物語『源氏物語』を執筆した女性作家は誰？
- 問21 日宋貿易で力をつけた平氏一族が厚く信仰した、安芸国にある神社を何という？
- 問22 平安時代に地方政治の乱れに乗じて力をつけ、やがて中央政治にも影響を与えた存在を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え</b> 古今和歌集	『古今和歌集』は、紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最も古い勅撰（天皇の命令による）和歌集です。当時の洗練された貴族の生活や自然への思いが反映されており、後の文学作品に多大な影響を与えました。仮名文字を用いて書かれたことが特徴です。
問2	<b>答え</b> 源義朝	1159年、義朝は藤原頼朝と結託して挙兵しましたが、最終的に平清盛に敗北しました。この敗北により源氏の勢力は一時的に衰退し、息子の源頼朝らは伊豆などへ流されました。
問3	<b>答え</b> 空海	空海は遣唐使として唐へ渡り、恵果から密教の教えを授かりました。帰国後、嵯峨天皇から京都の教王護国寺（東寺）を賜るとともに、和歌山県の高野山を修行の拠点として真言宗を開きました。密教は、經典の言葉だけでは表せない深い教えを、仏像や曼荼羅、印や真言などを使って表現するのが特徴です。
問4	<b>答え</b> 藤原道長	藤原道長はその摂関政治の頂点に立った人物です。娘の彰子を一条天皇の中宮にするなど、一族の女性を権力の中核に送り込みました。「この世をば…」で始まる望月の歌は、彼が自身の権力の絶頂期を月になぞらえて詠んだものとして非常に有名です。
問5	<b>答え</b> 浄土教美術	浄土教美術は、阿彌陀如来や極楽浄土の華やかな世界を絵画、彫刻、建築に込めた芸術です。平等院鳳凰堂の内部にある華麗な障壁画や、阿彌陀如来坐像などは、当時の最高の職人や芸術家によって作られました。繊細な装飾や美しい色彩は、平安貴族の優雅で洗練された文化を象徴しています。
問6	<b>答え</b> 桓武天皇	桓武天皇はまず長岡京への遷都を試みますが失敗し、その後794年に山背国（現在の京都）へ平安京を遷都しました。これにより、旧来の仏教勢力との結びつきを断ち切り、新たな環境で朝廷の威信を取り戻そうとしました。
問7	<b>答え</b> 藤原頼通	藤原頼通は、摂政・関白として約50年間政治の実権を握りました。当時、貴族たちの間では自分の財力や権力を誇示しつつ、極楽浄土に往生したいという切実な願いがありました。頼通はそれに応えるように、京都の宇治の地に壮大な平等院鳳凰堂を建立し、阿彌陀如来像を安置させました。
問8	<b>答え</b> 遣唐使	遣唐使は7世紀から9世紀にかけて、朝廷が中国へ送った外交使節団です。空海や最澄ら多くの僧侶や留学生が渡り、仏教の教えや政治制度、芸術などを持ち帰りました。これにより日本の社会や文化は大きな影響を受けました。
問9	<b>答え</b> 空海	空海は唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開きました。密教とは、高度な修行と儀式を重んじる仏教の宗派です。彼は嵯峨天皇から高野山を下賜され、そこに金剛峯寺を建立して修行の拠点としました。多くの弟子を育て、学問の面でも大きな足跡を残しました。
問10	<b>答え</b> 平清盛	平清盛は、平治の乱で源義朝を破って政権を握りました。武士として初めて太政大臣に任命され、一族の繁栄を築き上げました。また、日宋貿易を積極的にを行い、経済的基盤も強化しました。
問11	<b>答え</b> 奥州藤原氏	奥州藤原氏は、豊かな金の産出や馬の取引、大陸との貿易などを通じて莫大な富を築きました。この富を背景に、平泉の地に壮大な寺院群を建立し、仏教文化を花開かせました。
問12	<b>答え</b> 比叡山	比叡山は平安京（京都）の鬼門の方角にあり、都の守護を担うという意味も持っていました。ここに開かれた延暦寺には多くの僧侶が集まり、仏教の研鑽を積む拠点となりました。
問13	<b>答え</b> 紫式部	紫式部は、藤原道長の娘に仕えながら、『源氏物語』を執筆しました。この物語は、主人公である光源氏の栄華と没落を通して、人間の心理や当時の貴族社会を克明に描き出しました。
問14	<b>答え</b> 法華經	法華經は、天台宗が最も重視する經典で、「すべての人は平等に救われ、仏になることができる」という教えを説いています。最澄はこの經典に基づき、人々に正しい修行と理解を求めました。この包摂的な教えは、特定の僧侶だけでなく、多くの人々に仏教の門戸を開く役割を果たしました。
問15	<b>答え</b> 太政大臣	1167年に平清盛がこの地位に就きました。武士が朝廷の最高職に就くことは当時としては異例のことであり、平氏一族が貴族社会の中核に深く入り込んだことを示しています。
問16	<b>答え</b> 藤原道長	藤原道長は、娘を次々と天皇の妃として入内させることで、天皇の外戚として揺るぎない地位を確立しました。この強力な血縁関係を武器に、政治の決定権を独占し、藤原氏による統治の最盛期を現出させました。
問17	<b>答え</b> 東北地方	東北地方には、朝廷の支配に従わない人々が生活しており、朝廷側は彼らを「蝦夷」と呼んで服属させようとしてきました。朝廷は多賀城などの拠点を作り、軍事的に征討を試みました。
問18	<b>答え</b> 北面の武士	白河上皇が御所の北側に部屋を設けて警護させたことから「北面の武士」と呼ばれます。彼らは単なる警備員ではなく、実力行使の手段として上皇の信頼を受け、次第に政治的な発言力を持つようになりました。
問19	<b>答え</b> 9世紀末	894年、菅原道真の建議により遣唐使は停止されました。これにより、大陸からの直接的な影響が減り、日本の風土や日本人の感性に合った文化が育まれるようになりました。これが国風文化の始まりです。
問20	<b>答え</b> 紫式部	紫式部は藤原道長の娘に仕えた女房であり、宮廷社会の複雑な恋愛や人間模様を描いた長編小説『源氏物語』を執筆しました。当時の貴族の優雅な生活や、内面的な感情まで細やかに描き出したこの作品は、日本文学の最高峰とされています。
問21	<b>答え</b> 厳島神社	平氏一族は、安芸国にある厳島神社を厚く信仰し、社殿を豪華に造り替えました。海に浮かぶようなその姿は、当時の建築技術の高さと、貴族化した平氏の優雅な文化を今に伝えています。
問22	<b>答え</b> 武士	武士は、自らの土地や一族の生活を守るために武装した、地方の豪族や有力者たちです。彼らは互いに団結して武士団を形成し、朝廷の命を受けて反乱の鎮圧などを担うことで、次第に力を蓄えていきました。